



子青第121号
令和4年5月9日

沖縄県里親会会長
各児童養護施設長
児童心理治療施設長
沖縄県保育士会会長
沖縄県医師会会長
沖縄県看護協会会長

殿

沖縄県子ども生活福祉部
青少年・子ども家庭課長
(公印省略)

令和4年度専門里親認定研修に係る対象者の推薦について (依頼)

日頃より、本県の児童福祉行政の推進につきまして、格別のご配慮をいただき、感謝申し上げます。

さて、社会福祉法人恩賜財団母子愛育会より、令和4年度専門里親認定研修の開催について案内が来ております。児童虐待や要保護児童が増加傾向にある中、本県においても、高い専門性を持つ専門里親の養成を推進しているところです。

つきましては、貴管下に専門里親を希望する者がおりましたら、添付資料をご確認の上、下記にある「専門里親認定研修申込書」にて推薦していただけないでしょうか。

なお、研修受講の可否については、県において書類審査を行い、後日通知します。

記

- 1 研修期間：令和4年7月1日～10月31日【4ヶ月間】
自宅学習(通信教育)と面接授業(スクリーニング)にて実施。
- 2 対象及び資格：
(1)養育里親として3年以上の委託児童の養育の経験を有する者
(2)3年以上児童福祉事業に従事した者であって、都道府県知事が適当と認めた者
(3)都道府県知事が(1)、(2)と同等以上の能力を有すると認定した者
- 3 提出書類：専門里親認定研修申込書(別紙3)
- 4 提出期限：令和4年5月25日(水)
- 5 提出方法：(郵送) 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
沖縄県青少年・子ども家庭課 赤嶺 あて
- 6 添付資料：「令和4年度専門里親認定研修の開催について」
「令和4年度専門里親認定研修開催要項」
※詳細は添付資料にて確認ください。
- 7 留意事項：研修委託費以外の費用(旅費・テキスト代等)については、受講者の自己負担となりますので、ご留意下さい。

<連絡先>

沖縄県青少年・子ども家庭課 赤嶺
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL 098-866-2174 FAX 098-868-2402

令和4年度専門里親認定研修開催要項

1. 目的

この認定研修は、厚生労働省が平成14年度から導入した「専門里親」を養成するために、専門里親として必要な基礎的知識や技術を修得するものです。虐待及び非行、ならびに障害をもつ子どもの心理・行動の理解とその対応方法などについて学習することによって、本制度の充実と推進を図ります。

尚、これは、都道府県・指定都市・児童相談所設置市より委託を受け、厚生労働省通知「専門里親研修制度の運営について」に基づき、当会にて実施します。

2. 主催

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

3. 特色

本研修は、テキストや参考文献などを中心とした通信教育（自宅学習）と面接授業（スクーリング）で行います。

4. 期間

1) 通信教育の期間は令和4年7月1日（金）から10月31日（月）までの4ヶ月間とします。

2) スクーリング（面接授業）は、令和4年8月26日（金）から28日（日）までの3日間、東京会場（母子愛育会研修室）にて実施します。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大の状況により来場できない参加者については、都道府県・指定都市・児童相談所設置市とオンラインでの受講について協議します。

5. 対象及び資格

1) 養育里親として3年以上の委託児童の養育の経験を有する者。

2) 3年以上児童福祉事業に従事した者であって、都道府県知事（指定都市にあつては、市長とし、児童相談所設置市にあつては、児童相談所設置市の市長とする。以下同じ。）が適当と認めた者。

①福祉関係：

児童自立支援専門員、児童生活支援員、児童指導員、保育士、児童福祉司、社会福祉士、精神保健福祉士、児童心理司

②保健・医療関係：医師、保健師、助産師、看護師

③教育関係：教員

④司法・矯正関係：家庭裁判所調査官、少年院教官

3) 都道府県知事が1)、2)と同等以上の能力を有すると認定した者。

6. 内容

1) 通信教育

「養育の本質・目的及び対象の理解に関する科目」(別紙1の①)を自宅で学習し、
考查課題を1か月に2科目ずつ、提出します。(下表参照)

月	対象科目	締切日
7月	社会福祉概論、児童福祉論	令和4年7月31日(日)
8月	地域福祉論、養育家庭論	令和4年8月31日(水)
9月	社会福祉援助技術論、養護原理	令和4年9月30日(金)
10月	医学(児童精神医学を含む)、発達臨床心理学	令和4年10月31日(月)

① 考查について

考查課題は、各科目の担当講師から、締切日の3週間前までに提示されます。
内容は担当講師によって異なりますが、選択問題と記述式問題が出題されま
す。

評価基準は、テキストの内容をよく理解しているか、課題の意味を理解して解
答しているか、自身の考えが述べられているか、となります。

考查結果は、通信教育期間終了後に参加者本人と都道府県・指定都市子ども家
庭主管部局長あてに通知します。考查の評価(採点結果)が、基準点に及ばな
い場合は再考查となります。

② テキストについて

別紙2の「使用テキスト一覧」に掲載した図書を用います。

(参加者が各自で購入)

2) スクーリング(面接授業)

「養育の内容及び方法の理解に関する科目」(別紙1の②)を学びます。

スクーリングの開催中の欠席は、特別なことがない限り認められません。途中欠席
した場合は、次年度の再履修となりますので、申込みの際は注意してください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況により来場できないに参加者については、
前述のとおり、オンライン受講について協議します。

* 単年度に履修できなかった科目及びやむを得ない理由によりスクーリングを欠席
した場合は、当該科目についてのみ、翌年度に限って履修することができます。

* 都道府県・指定都市子ども家庭主管部局長は、上記の考查結果及び養育実習の結果
とあわせて、専門里親として適任者であるか否かを総合的に判断し、決定すること
とします。

7. 申し込み方法

- 1) 別紙3の「申込書」様式により、申し込んでください。なお、夫婦で参加する場合でも、別々に申し込んでください。
- 2) 送付先：東京都港区南麻布5-6-8 (〒106-8580)
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 研修部 担当 北村

8. 申込み締切り日

令和4年5月27日(金)

9. 参加者の決定

- 1) 参加の可否は、都道府県・指定都市子ども家庭主管部局長及び参加者あてに通知します。

10. 経費

- 1) 委託費(派遣者負担)
スクーリング受講料1人 39,600円(税込)
- 2) 参加者負担
 - ①テキスト代 別紙2参照 (参加者が各自で購入)
 - ②考査代 9,000円(税込)
- 3) 委託費及び参加者の考査代は、下記の口座に振込んでください。
銀行 三井住友銀行麻布支店 普通預金 No.860806
名義 社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会 専門里親口
(シャイクシホウジン オンサキダニホシイカクカイ センモンサトオヤケチ)
- 4) 研修開始後、参加者の自己都合で通信教育を中止した場合も、受講料はお支払いいただきますので注意してください。
- 5) 派遣者または参加者の都合による払い戻しは、手数料がかかります。ご了承ください。
- 6) スクーリング会場までの旅費、宿泊費、食事代は派遣者又は参加者の負担とします。

11. その他

- 1) 委託契約が必要な場合は、その様式又は契約方法を申し込み時にご指示ください。
- 2) スクーリング期間中の保育サービスは提供していません。
- 3) 交通案内は、別途通知します。

別紙1

① 通信教育科目(養育の本質・目的及び対象の理解に関する科目)

	科 目	主 な 内 容
1	社会福祉概論	福祉(理念)とは、社会福祉(歴史)の動向(海外の社会福祉)、基礎構造改革、福祉の領域、方法(社会福祉援助技術論)、ノーマライゼーション(理念)とは、行財政、法律・制度、マンパワー
2	児童福祉論	法制度の実施体制、相談機関、児童福祉施設の現状と課題、子どもの権利条約、行財政、マンパワー、歴史、各論(養護、障害、非行、情緒障害)
3	地域福祉論	関係機関・地域社会・他施設等との連携の必要性と実際、地域福祉計画、推進主体、児童相談所とのパートナーシップ
4	養育家庭論	社会的養護の体系、家庭的養護の現状と課題、社会的養護の歴史的展開、養育・自立支援の基本的なあり方
5	社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基本的な考え方、相談援助の方法
6	養護原理	児童養護の概念、施設養護の理論と動向、児童の権利擁護、パーマネンシー・プランニング
7	発達臨床心理学	心の健康と発達、アタッチメント、分離と喪失、被虐待体験の影響
8	医学一般 (児童精神医学を含む)	DSMにもとづく主な精神障害の分類と理解、発達障害、インフォームドコンセント(説明と同意)

② スクーリング科目(養育の内容及び方法の理解に関する科目)

	科 目	主 な 内 容
1	児童虐待援助論	被虐待児の心理と行動、被虐待児への関わり方
2	思春期問題援助論	思春期児童の心理と関わり方
3	家族援助論	実親の心の動きの理解、家族再統合に向けての援助
4	非行の理解と対応	問題行動の理解、生活環境づくり、子どもの力量形成
5	障がい児の理解と養育	障がいの種類と内容、障がいのとらえ方、障がい児への対応の仕方
6	専門里親演習	ロールプレイや事例検討を通して被虐待児等への関わり方を探求する

使用テキスト一覧

テキストは、変更になる場合がありますので、受講決定のお知らせにて再度ご確認ください。

科 目	テキスト名	出版元	価格 (税別)
社会福祉概論	改訂1版 最新 保育士養成講座 第4巻 社会福祉	全国社会福祉協議会出版部	1,900 円
児童福祉論	最新 保育士養成講座 第3巻 子ども家庭福祉	全国社会福祉協議会出版部	1,900 円
地域福祉論	やさしくわかる社会的養護6 児童相談所・関係機関や地域との 連携・協働	明石書店	2,400 円
養育家庭論	シリーズ みんなで育てる家庭養護4 中途からの養育・支援の実際	明石書店	2,600 円
社会福祉援助技術論	新・社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法 I	中央法規出版	2,600 円
養護原理	* 未定		
発達臨床心理学	子ども家庭支援の心理学	アイ・ケイコーポレーション	2,400 円
医学一般 (児童精神医学を含む)	* 未定		

* 受講決定のお知らせに記載いたします。

専門里親認定研修申込書

氏名	フリガナ	年齢	歳	性別	男・女
住所	〒 電話 () FAX () 緊急連絡先 (携帯電話等) () メールアドレス				
管轄児童相談所名					
資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養育里親 (*里親で専門職の場合は両方に○してください) ・ 専門職 (職名:) ・ その他 () 				
通算経験年数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養育里親として 年から 年まで 年目 ・ 専門職として 年から 年まで 年目 				
(現在)里子の有無 と人数・年齢	<ul style="list-style-type: none"> ・ いる ⇒ 人 里子の現年齢と受託時の年齢 歳 (歳から)、 歳 (歳から)、 歳 (歳から) 歳 (歳から) ・ いない (かっていた ⇒ 人) 				
実子の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ いる ⇒ 人 (末子の年齢 歳) ・ いない 				
最終学歴					
職歴					
備考 (参加理由等)					

上記の者を専門里親養成教育の参加者として申し込みます。

令和4年 月 日

都道府県・指定都市子ども家庭主管部局長 ㊟

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

理事長 水田 邦雄